

■■■演壇にて■■■

皆さん、おはようございます。三度のメシより佐渡が好き！！政風会の室岡啓史でございます。今定例会最初の一般質問の機会をいただきましたことに心より感謝申し上げます。アフターコロナに向けて、まずは気持ちから「前向きの島づくり」を念頭に置き、通告に従い一般質問を致します。今までは午前1人、午後3人の質問人数から今回から午前2人、午後3人となる初の試みです。持ち時間30分、答弁あわせて約60分で終わらせることができるようにがんばります。

なお、本日の配布資料は、「室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会」ホームページで見ることができますので、テレビ等をご覧の方は「室岡ひろし」でインターネット検索していただき、是非ともご確認ください。

さて、イタリアで開催されました。ミラノ・コルティナ冬季五輪2026では、数多くの本県出身者も含む日本選手団が目覚ましい活躍を見せ、私たちに大きな勇気と感動を与えてくれました。冬季五輪過去最高の合計24個（金5個、銀7個、銅12個）のメダルを獲得し、個数ではノルウェー、アメリカ、開催国イタリアに次ぐ世界の4位となりました。特にスキージャンプ陣の空を切り裂くような大ジャンプには、目を見張るものがあり、私は深く印象に残っております。

思えば、昨今のわが国の政治も、まさに「ジャンプ混合団体・永田町カップ」のような展開でありました。この政治風刺小話は私が原作、AIが脚色してくれたものです。まず、岸田文雄選手は、「聞く力」というワックスをスキー板に丹念に塗り込み、滑りやすい環境を整え、じっくりと助走距離を稼いできました。続く石破茂選手は、「地方創生2.0」という次の大きな飛躍のために、膝を深く曲げてパワーを蓄える「溜め」の姿勢を全力で貫きました。そして、その蓄えられたエネルギーを一気に爆発させたのが、「日本列島を、強く豊かに。」と謳う高市早苗選手であります。石破選手が作り出した強い反動を味方につけ、絶好のタイミングで「解散総選挙」という踏切台を蹴り上げました。向かい風を上昇気流に変え、K点を遥かに超える316議席という「バクセンレコード（最長不倒記録）」を達成。しかも、着地では見事なテレマーク姿勢を決め、国民からの圧倒的な支持という、過去最高得点を叩き出したのであります。

翻って我らが佐渡市はどうでしょうか。世界遺産登録という上昇気流を受け、今まさに踏切の時を迎えています。一方で、水道、医療、交通、教育など、人口が減るほど重くなる「固定費型の課題」が積み上がっています。施政方針でも、前例主義にとられず挑戦し、最小コストで最大効果を発揮する効率的な行政運営を実現することが明記されております。実行力2期目の渡辺市長に対し、「政治の風」をいかに掴み、佐渡の明るい未来に向けた「大ジャンプ」を決めることができるのか。そして、国・県・市のパイプを強固にして、チームワークをさらに高めることができるのか、その覚悟を問うべく一般質問に入ります。

私はこの1月、2月で、千葉県千葉市の市町村アカデミー、滋賀県大津市の国際文化アカデミー、そして奈良県明日香村の行政視察に参加し、人口減少社会における自治体経営、地域人材育成、文化資源の保存と活用の具体論を学んでまいりました。これらの学びを、佐渡の政策に落とし込むべく、本日も【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の観点から一般質問をさせていただきます。

佐渡の農山漁村の生業と文化を大切に、集落でかけがえのない時を過ごす人と人がつながっていく世界観、「佐渡ヶ島（SDGs）集落ツーリズム構想」の実現に向けて質問致します。

◎佐渡ヶ島（SDGs）集落ツーリズム構想の実現に向けて
【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案

(1) 人口減少社会への挑戦と人材育成について

- ① 関係人口・二地域居住促進の具体策と定住率向上策
- ② 佐渡版未来創造塾の創設と次世代リーダー育成
- ③ 佐渡島まるごと博物館構想の推進
- ④ 地域電力会社の設立による森林利活用、木質バイオマス発電の推進

(2) 健康寿命日本一を目指すウエルビーイング政策について

- ① 佐渡総合病院への持続的支援体制とオンラインも活用した医療人材確保
- ② 放射線治療に係る交通・宿泊費補助制度の改善策
- ③ 野菜摂取と減塩推進「カラダにやさしお運動」と大根菜等の地場野菜活用による健康増進モデル
- ④ マインドフルネス導入による心身の健康政策

(3) 世界遺産登録後の文化観光インフラの高度化について

- ① サイクルツーリズムと世界遺産・温泉・食の連携モデル構築
- ② 全島ブルーライン化によるナショナルサイクルルート認定への戦略
- ③ 加茂湖周辺サイクリングロード整備の進捗と将来構想
- ④ 足湯整備、温泉消雪パイプ導入等による温泉資源の多角的利活用

◎佐渡ヶ島（SDGs）集落ツーリズム構想の実現に向けて

【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案

(1) 人口減少社会への挑戦と人材育成について伺います。

① 関係人口・二地域居住促進の具体策と定住率向上策についてお尋ねします。施政方針では、国のモデル事業に採択されました。二地域居住を本格化させ、全国の自治体の先進事例となるべく尽力する旨が記載されております。また、空き家は令和7年度調査で5,711件とされ、官民連携のプラットフォームで提供を図る方針が示されています。本市として、関係人口・二地域居住を「来てもらう」で終わらせず、定住率の向上につなげるために、①住宅（空き家）②仕事（雇用と起業）③コミュニティ（受け入れ）の3点をどのようにパッケージ化し、数値目標を含めてどのような工程で進めるのか、市長の答弁を求めます。

【二次質問：スライド03】

・関係人口を「来てもらう」で終わらせず、定住率向上につなげるためのKPI（関係人口・二地域居住者数・定住率等）を設定しているのか。設定している場合は数値目標と担当体制を、設定していない場合は、いつまでに設定するのか、妙高市や湯沢町等との季節移住の二地域居住連携はどのように進むのか、答弁を求めます。また、準住民として島民扱いされて、島民カードが発行されるのはいつ頃ですか。加えて、第二住民票については具体的などころは分かればご説明ください。

⇒200人の二地域居住者を目標としている。

・国土交通省二地域居住先導的プロジェクトを推進していく。

<https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/content/001897914.pdf>

・移住者のコミュニティづくりなどを委託事業として実施している。

・コンパス、トキコネクト、マッチボックスを今後さらに活用していく。

・平成元年以降の空き家は81軒あり、活用していく。

② 佐渡版未来創造塾の創設と次世代リーダー育成についてお尋ねします。2050年に居住地域の6割以上で人口が半減するという深刻な予測を背景に、人口減少社会における地域づくりを推進する必要があります。地方創生は「我慢力」を持って「共創」へと舵を切る局面にあります。地域経済循環率の向上を目指し、「企業城下町」ならぬ、地域から持続可能な事業を創出する「起業増加町」への転換こそが、地方創生の核心であります。滋賀県大津市の国際文化アカデミーでの研修を受けて、足元に眠る地域資源を再発見し、ビジネスとして自走させることの重要性を再認識しました。佐渡市においても「稼ぐ力」を育む人材育成の場が不可欠であります。現在、有人国境離島特別措置法の雇用機会拡充事業に基づき、ビジネスコンテストも開催しながら起業・創業支援を行っておりますが、採択と補助金受給が目的化してしまう「補助金依存型」の事例や失敗に終わってしまう事例も見受けられます。今後は、この拡充事業に「未来創造塾」のような継続的な教育・伴走の仕組みや佐渡教育コンソーシアムの活動、地域おこし協力隊の招聘等を組み合わせるべきであると感じております。そ

して、単なる資金援助で終わらせず、補助金終了後も自立して地域課題を解決し続ける「自走型起業家」を一人でも多く輩出するコラボが生まれて付加価値が高くなる努力をすることこそが、離島の持続可能性を担保する唯一の道であると確信しました。市として、未来創造塾のような仕組みを創設する考えはないか、答弁を求めます。

【二次質問：スライド04】

・研修では、デジタル化が進む一方で回覧板や対面でのコミュニケーションといったアナログな手法の重要性が再確認されました。無理な人口増を目指すのではなく、唱歌の合唱や社会参画を通じた「介護予防」により元気な高齢者を増やすことの現実性が共有されました。また、規制緩和による民間活力の導入や、先祖代々の土地という固定観念を打破するための合意形成など、現場特有の課題も浮き彫りとなりました。自治体、郵便局、社会福祉協議会、そして民間企業が「太いパイプ」で結ばれ、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持つことの重要性が指摘されました。

- ・熊本県八代市の「やつしろ未来創造塾」のように、佐渡でも、
- ① 地域課題（空き家、交通、子育て、観光、一次産業）をテーマに
- ② 事業化・起業化まで伴走し
- ③ 補助金が終わっても自走できる人材を育てる

「佐渡版未来創造塾」を創設してはどうでしょうか。

ネットワークづくりがどこまでできているのでしょうか。老若男女、さどのもん、たびのもんに限らずオール佐渡で人と人とがつながっていく努力を行政としてさらに強化することは必要不可欠ではないかと考えますが、市長の答弁を求めます。

③ 佐渡島まるごと博物館構想の推進についてお尋ねします。奈良県明日香村の行政視察では、「村全体を屋根のない博物館」と捉え、文化資源の見える化（映像・バーチャル）と回遊導線づくり、そしてガイドの質を高める制度設計が鍵であると痛感しました。佐渡でも、相川のまちづくりミュージアム構想や相川ふれあいガイドなど、世界遺産を核とした面的展開が始まっています。今後は、相川だけでなく、全島へ横展開し、「佐渡島まるごと博物館」として物語を編み直すことが必要です。聞くところによると、JR東日本企画によって平成10年前後に「佐渡そのまんまテーマパーク」と題して提言をまとめた事があったそうです。当時は合併前の一島一市になる前で、観光に関心の弱い地域があったため、進めることの難しさがあったと推察します。今こそ、世界文化遺産を核に島全体を「屋根のない博物館」として再構築し、歴史・文化・集落の営みを面的に活用していくべきと考えます。本構想および司令塔、デジタル活用（AR・VR等）、認定プロガイド制度の検討状況について、答弁を求めます。

【二次質問：スライド05】

1. 地域資源をネットワーク化するべきではないでしょうか。
2. デジタル（AR・VR等）を活用した「見える化」に関し、今後推進するべきと考えますがどうでしょうか。
3. 明日香村のような「認定プロガイド制度」を佐渡版として検討し、「稼げるガイド」を育成する考えはありませんか。

・島内文化資源をネットワーク化し、回遊性と滞在価値を高めるため、デジタルでの見える化（AR・VR）と「佐渡認定プロガイド」制度の創設を検討できないか。司令塔となる部署と、来年度以降の工程を示して答弁を求めます。

④ 地域電力会社の設立による森林利活用、木質バイオマス発電の推進についてお尋ねします。施政方針では、佐渡の電力供給が火力に91%依存し、エネルギー分野で島外に流出している資金が年間95億円程度と試算されていること、そして木質バイオマス発電・熱利用、ペレット工場誘致、J-クレジット活用、地域電力会社設立を見据える方針が明記されております。また、当初予算概要にも、木質バイオマスによる森林再生と島内資源循環体制の構築を進めることが示されています。

そこでお尋ねします。

1. 地域電力会社の設立は「いつまでに」「どの規模で」「どの主体が」検討を主導するのか。
2. 木質バイオマスの発電・熱利用について、森林組合や民間事業者、ゼロカーボン施策との役割分担はどうか。
3. J-クレジットによる利益を、森林整備と地域経済にどう循環させる設計なのか。市長の答弁を求めます。

【二次質問：スライド06】

・地域電力会社の設立検討の段階（構想・準備・事業化）と、木質バイオマスの方向性（発電・熱利用・混合）を、タイムラインを含めて整理して答弁を求めます。

⇒環境省とやりとりしている。木質バイオマス発電の出力を380kWから500kWに上方修正し脱炭素先行地域の計画を変更していく予定。法人の形態は、SPC（特定目的会社）や株式会社など様々あると思うが未定である。

(2) 健康寿命日本一を目指すウエルビーイング政策について伺います。

① 佐渡総合病院への持続的支援体制とオンラインも活用した医療人材確保についてお尋ねします。当初予算の概要では、佐渡総合病院に対し公的病院運営費補助金と厚生連病院経営安定化事業補助金を含め手厚い支援とならざるを得ないと認識しております。残念ながら、佐渡総合病院の経営が危機的状況にあり、国・県・市で連携して立て直す必要があると理解しております。そこでお尋ねします。

1. 佐渡総合病院への行政支援について、令和7年度は1.2億円でしたが、令和8年度も1.2億円、令和9年度の支援見通しをどう考えているのでしょうか。
2. 医師・看護師確保について、オンライン活用や教育機関との連携（例：サテライト教室型教育等）を含め、佐渡として優先する施策を何と考えておりますか。
3. 県・市・厚生連の協議体を、実務が回る形にするための「常設の司令塔」をどう設計するのか、財源をどう確保するのか市長の答弁を求めます。

【二次質問：スライド07】

- ・JA厚生連の経営再建が最優先であると思いますが、次年度以降の支援予定額の考え方（上限感・継続年数・財源の内訳）をお示しください。6市の中で令和10年度以降はどうなるのでしょうか？
- ・今年度の財源は単費ですが、次年度はふるさと納税を一部充当予定とのこと。企業版ふるさと納税はどうでしょうか。あわせて、オンライン活用も含む医療人材確保策について、次年度中に着手できることは何と考えるか答弁を求めます。
- ・中川隆一新潟県議会議員が医療問題について3月4日（水）に県議会で一般質問されました。市長や県・市・厚生連職員と一緒に伺った鹿児島県と種子島では看護学校のサテライト教室化を推進しており、現地視察を踏まえてどう考えるかお尋ねします。

② 放射線治療に係る交通・宿泊費補助制度の改善策についてお尋ねします。本年4月からは佐渡総合病院において、放射線治療が完全中止となり患者や家族のご負担が大きくなると想定されます。そこでお尋ねします。

1. 放射線治療患者の人数について、昨年度101人ですが今年度はどうですか。昨年度65歳以下は11人だと理解しております。そのうち、働いている現役世代の方の人数、放射線治療を継続した場合の経営上の損益分岐となる患者数等について説明を求めます。

2. 放射線治療患者への交通・宿泊費補助の現状と課題についてお尋ねします。40人を見込んでいたが、補助金申請者は5名。緩和治療で1カ月に1回通うような状況だと理解しておりますが、どう改善しようとしているのでしょうか。

3. 持続可能な補助制度の改善（対象、上限、所得要件、助成方法）をどう検討していくのでしょうか。ガンなどの病気については、早期発見・早期治療につなげる啓発活動をさらに強化する必要があると考えます。また、現役世代こそ、民間の保険に加入を促進することを行政としても推進するべきと考えますがいかがでしょうか。市長の答弁を求めます。

【二次質問：スライド08】

・放射線治療に係る交通・宿泊費補助について再質問します。対象者数、現役世代比率、制度の持続可能性（所得要件・上限設定・助成方式）をどう整理しているのか。制度見直しのスケジュールも含め答弁を求めます。

⇒放射線治療も産科も年間200人の患者数が経営の損益分岐点という試算がある。放射線治療は、年間維持管理費が約2,700万円、機械購入費が約5億円。佐渡総合病院は次年度電子カルテの更新時期で、9～10億円程度の出費が必要となる。

③ 野菜摂取と減塩推進「カラダにやさしお運動」と大根菜等の地場野菜活用による健康増進モデルについてお尋ねします。佐渡が目指す「健康寿命日本一」への挑戦は、単なるスローガンではなく、日々の食卓から始まります。野菜摂取や減塩を意識した「真の医食同源の島づくり」を推進しなければなりません。また、福祉だけでなく、農業や産業、教育など市役所全体が手を取り合う「全庁的な協力」こそが、唯一の解決策ではないかと思えます。佐渡の底力を結集し、健康で活力ある島をともにつ

くっていかなければなりません。施政方針では、肥満予防と減塩対策、フレイル予防を全島で展開し、「カラダにやさしお」をキャッチコピーに取り組む方針が明記されています。健幸さど21第3次計画に基づき、大根菜等の地場野菜を活用したモデルづくり、学校給食・地域スーパー・飲食店等との連携、評価指標（野菜摂取量、食塩摂取量、健診指標）についてどのように推進しようとしているのか、市長の答弁を求めます。

【二次質問：スライド09】

・大根菜は冬の葉物野菜として非常に重宝します。もはや大根は副産物で大根菜が主産物なのではないかと思えます。都会のように野菜は買うという選択肢のみならず、自分で育てる地産地消、身土不二を推進するべきと考えますがいかがでしょうか。

・「カラダにやさしお運動」について、健幸さど21第3次計画における主要KPI、事業の実施体制（学校・地域・飲食店等の巻き込み）を示して答弁を求めます。
⇒肥満対策とフレイル、高血圧・糖尿病・腎疾患などの生活習慣病の予防についてコンソーシアムで進める予定。

④ マインドフルネス導入による心身の健康政策についてお尋ねします。マインドフルネスとは、現在において起こっている経験に注意を向ける心理的な過程のことで、瞑想およびその他の訓練を通じて発達させることができるとされます。アップルコンピュータ創業者のスティーブ・ジョブズ氏がマインドフルネスの熱心な実践者であったことは、彼の創造性や集中力の源泉を語る上で欠かせないエピソードです。ジョブズ氏が行っていたのは、主に「座禅」です。マインドフルネスのルーツでもある「今、この瞬間に集中し、余計なものを削ぎ落とす」という思考は、アップル製品の徹底的なシンプルさに直結しており、「シンプルであることは、複雑であることよりも難しい」との名言を残しました。瞑想によって「自己」というノイズを消し、聴衆に何を伝えるべきかという一点に集中する。魔法のようなプレゼンテーションの裏側には、マインドフルネスによる精神統一があったと理解しています。ジョブズ氏がスタンフォード大学の卒業式で行った「Stay Hungry, Stay Foolish」で知られるスピーチでは、「死」を意識することの重要性を語りました。「もし今日が人生最後の日だとしたら、今日やろうとしていることを本当にやりたいか？」という問いかけは、まさにマインドフルネスが目指す「今、この瞬間を後悔なく生きる」という姿勢そのものです。このように、身体健康だけでなく、心の健康、メンタル不調の予防にも寄与します。医療・教育・企業の現場でもマインドフルネスの活用は必要であり、佐渡の自然環境とも親和性が高いと考えます。そこで、市民の健康講座、公民館活動、学校教育、職員研修などに段階的に導入する考えはないか、市長の答弁を求めます。

【二次質問：スライド10】

・心も体も健康であるということは理想ですが、現実にはそうたやすいものではありません。心身に不調を抱え、仕事を休む市民も少なくないと理解しております。そこで、市民向け健康講座、学校、職員研修等、段階的な導入の可否と、担当部局の検討状況について再度答弁を求めます。

(3) 世界遺産登録後の文化観光インフラの高度化について伺います。

① サイクルツーリズムと世界遺産・温泉・食の連携モデル構築についてお尋ねします。施政方針では、観光入込客数60万人として長期滞在型観光を進める方針が示されています。サイクルツーリズムは、冬季以外の平準化、回遊性向上、地域消費拡大に直結します。世界遺産・温泉・食と組み合わせたモデル構築について、市長の本気度をお尋ねします。

【二次質問：スライド11】

・サイクルツーリズム×世界遺産・温泉・食と連携したモデルコースを、次年度造成することはできないか。事業主体（市・観光団体・民間）と、目標指標（滞在日数・消費額等）を示して答弁を求めます。

② 全島ブルーライン化によるナショナルサイクルルート認定への戦略についてお尋ねします。国際文化アカデミー来訪の際の滋賀県・琵琶湖周辺フィールドワークでは、サイクリングルートの青い路面表示であるブルーラインが「安心感」と「回遊動線」を創出していることを実感しました。ブルーラインが引かれているということは、その地域が「自転車観光を歓迎している」というメッセージにもなります。佐渡でも、全島ブルーライン化を進め、ナショナルサイクルルート認定を見据えた戦略を構築すべきと考えます。方針、予算の考え方、国・県との調整状況について答弁を求めます。

【二次質問：スライド12】

・まずは実証実験から始めるようなことを考えてはごうですか。実施範囲、概算コスト、整備の優先順位、ナショナルサイクルルート認定を見据えた国・県との調整状況を示して、再度答弁を求めます。

③ 加茂湖周辺サイクリングロード整備の進捗と将来構想についてお尋ねします。加茂湖は新潟県最大の湖であり、周囲約17km、面積は約5k㎡の汽水湖です。両津港にも近いことから、アクティビティの充実やサイクリング、ウォーキングなどさらなる活用が期待されるところです。現状では、完全なる一周ルートではないと認識しておりますが、整備の進捗、管理主体の整理、将来のアクティビティ（サイクリング・ウォーキング・カヤック・カヌー・サップ等）との連携構想について答弁を求めます。

【二次質問：スライド13】

所管の整理、整備の進捗、将来の回遊動線（両津港・市街地・アクティビティ）をどのように構想しているのでしょうか。観光においては、船待ちの数時間を有効に活用する伸びしろがまだまだあると期待しておりますが、工程を含め答弁を求めます。

④ 足湯整備、温泉消雪パイプ導入等による温泉資源の多角的利活用についてお尋ねします。昨年11月の会派視察で訪れた淡路島では足湯に5分だけ浸かることができました。また、1月末の新潟県市議会議長会の開催地であった月岡温泉の足湯に3分だけ浸かることができました。無料で体験することができ、数名がゆったりと足湯に浸かりおしゃべりや読書等で時を過ごされておりました。足は「第二の心臓」とも呼ばれ、重力で下半身に溜まりがちな血液をポンプのように心臓へ送り返す役割があります。足湯による健康効果、コミュニケーションの発生等、認知症予防や観光交流促進にも寄与し、ウエルビーイングが推進されるものと考えます。また、消雪パイプに温泉を活用するという点についてですが、例えば両津夷商店街周辺は積雪量も多く路上駐車も多いため、他地域よりも除雪に苦労がかかると理解しております。温泉の消雪パイプを設置することで、除雪費の節減やトラブルの未然防止につながるものだと思います。まずは実証実験から始めてはどうかと考えますが、佐渡市の見解を伺います。

【二次質問：スライド14】

・足湯の整備は健康と交流の両面で効果があり得ます。足湯の設置を推進すべきと考えますが、候補地、運用主体、維持費の考え方を示してください。また、温泉消雪パイプは、まず実証実験から始めてはどうかと考えますが答弁を求めます。

以上で、一回目の質問を終了いたします。

最後に、本議場にご参集の皆様へ、なぞかけを寄贈して終わりにしたいと思います。

整いました～◎

新潟1区で働く我々とかけまして、お猿のかごやとときます。

その心は・・・

越佐、越佐／えっさ、えっさと働いて働いて働いて働いて働いて働いてまいりましょう！

そして、

越佐の成長のスイッチを押して押して押して押して押しまくってまいりましょう！

以上で私の一般質問を終わります。ご清聴ありがとうございました。